

平成 18 年 2 月 13 日

各 位

株式会社アルプス技研
IR・広報室

平成 17 年 12 月期(平成 17 年 1 月 1 日から平成 17 年 12 月 31 日まで)当社決算について

株式会社アルプス技研の平成 17 年 12 月期(平成 17 年 1 月 1 日から平成 17 年 12 月 31 日まで)決算のうち業績概要につきまして、下記概略ご説明申し上げます。
なお下記数値につきましては百万円未満を切り捨て、%は小数点第一位未満を四捨五入しております。

【 】連結決算の業績概要について

(1) 連結決算の主要数値

売上高	205億3,600万円	(前期比 10億4,000万円増、5.3%増)
営業利益	15億8,900万円	(同 1億7,200万円増、12.1%増)
経常利益	16億 100万円	(同 2億2,300万円増、16.2%増)
当期純利益	8億 100万円	(同 1億2,100万円増、17.9%増)

(2) セグメント別売上高

アウトソーシングサービス事業	192億7,500万円	(前期比 15億7,200万円増、8.9%増)
その他事業	12億6,100万円	(同 5億3,100万円減、29.6%減)

当会計年度の連結決算売上業績は、アルプス技研のモノづくり部門における半導体製造装置会社からの受注減(前期比4億9,400万円減)の影響を受け、「その他事業」は減収となりましたが、輸送、電機、精密機器などの製造業への設計技術者派遣を主流とした高付加価値の「アウトソーシング事業」が堅調に推移した結果、売上高は連結決算開始以来初めて200億円を突破(205億円、前期比5.3%増)いたしました。利益面におきましては、積極的な採用活動及び新規営業開拓等により販管費が増加しましたが、「アウトソーシング事業」の堅調な成長が営業利益並びに経常利益の増益に貢献しました。また当社創業者であります松井現取締役会長の取締役退任(3月24日付予定)に伴う役員退任慰労引当金繰入額(2億2,300万円)等を特別損失に計上しましたが、当期純利益も増益となり、連結決算過去最高売上、利益を達成し3期連続の増収・増益となりました。

連結対象会社別では「アルプスビジネスサービス」の技術者派遣や介護分野への人材派遣業務が好調で売上高は前期比29.2%増の22億4,200万円(7月に合併したサイエンスシステムとの合計)、また台湾現地法人「アルテックシャイン」は、製造業への設備据付工事業務の受注が旺盛で、売上高は前期比約3倍の6億2,800万円となるなど好調でした。

【 】個別決算(株式会社アルプス技研)の業績概要について

(1) 個別決算の主要数値

売上高	172億7,700万円	(前期比 2億7,000万円増、1.6%増)
営業利益	13億6,400万円	(同 7,800万円増、6.1%増)
経常利益	14億1,800万円	(同 9,100万円増、6.9%増)
当期純利益	6億8,400万円	(同 6,500万円増、10.5%増)

株式会社アルプス技研

(2) セグメント別売上高

アウトソーシングサービス事業	163億 900万円	(前期比 8億6,400万円増、5.6%増)
その他事業	9億6,700万円	(同 5億9,500万円減、38.0%減)

「その他事業」の減収は半導体製造装置会社からの受注減による影響ですが、製造業への設計技術者派遣を主体とする「アウトソーシングサービス事業」の高い成長によって個別売上高は増収となりました。利益面では、積極的な採用活動等に伴う販管費の増を、高付加価値の「アウトソーシングサービス事業」の成長が吸収し、営業利益並びに経常利益とも増益となりました。また役員退任慰労引当金繰入額(2億2,300万円)及びアルテックランカに対する株式評価損並びに貸倒引当金繰入額(計3,500万円)等を特別損失に計上しましたが、当期純利益は増益となり、過去最高の売上、利益を達成すると同時に12期連続の増収・増益(経常利益)となりました。

(3) 主要業種売上高構成比及び前期比増加率(売上高上位100社)

	構成比	()は前期	増加率
自動車関連(含む部品、ナビ・オーディオ)	30.1%	(26.6%)	+15.1%
家電	12.9%	(11.9%)	+10.3%
半導体製造装置	6.4%	(8.8%)	26.3%
光学機器	4.7%	(4.4%)	+8.5%
プリンター・複写機	12.8%	(12.4%)	+5.0%
その他(携帯電話、ソフト開発等)	33.1%	(35.9%)	6.1%
合計	100.0%	(100.0%)	+1.7%

自動車、家電、精密機械(光学機器、プリンター・複写機)業界からの製品開発設計技術者要請は依然強く、顧客要請に応じきれない状況が続いています。

(4) 派遣稼働状況及び実単価 ()内は前期

派遣稼働率	派遣稼働時間	派遣実単価
95.2%(96.3%)	179.8H/月(183.9H/月)	3,313円/H(3,217円/H)

派遣先企業の残業規制などにより稼働時間が前期比で低下しましたが、単価の改定が進み、稼働時間のマイナス要因をカバーしました(なお新卒を除いた技術者の派遣単価は前期比で3.7%アップしました)。

[] 平成18年12月期(平成18年1月1日から平成18年12月31日まで)

の中間期並びに通期業績予想について

平成18年の国内経済環境は政府見通しでも緩やかな成長が見込まれており、平成17年の環境と大きく変化する要因は見当たらないという前提で、平成18年12月期(平成18年1月1日から平成18年12月31日まで)の中間期並びに通期業績は以下のように予想しております。

なお本業績予想発表時点では、減損会計制度適用による影響は見込んでおりません。

(連 結)

中間期(平成18年1月1日から平成18年6月30日まで)

売上高	107億円	(前期比 7億6,600万円増、7.7%増)
営業利益	7億4,000万円	(同 1億1,800万円増、18.9%増)
経常利益	7億2,000万円	(同 1億5,000万円増、26.3%増)
当期純利益	3億9,000万円	(同 7,700万円増、24.6%増)

通 期(平成 18 年 1 月 1 日から平成 18 年 12 月 31 日まで)

売 上 高	223億円	(前期比 17億6,300万円増、8.6%増)
営 業 利 益	17億6,000万円	(同 1億7,000万円増、10.7%増)
経 常 利 益	17億5,000万円	(同 1億4,900万円増、9.3%増)
当期純利益	9億5,000万円	(同 1億4,800万円増、18.5%増)

(個別(アルプス技研))

中間期(平成 18 年 1 月 1 日から平成 18 年 6 月 30 日まで)

売 上 高	89億7,000万円	(前期比 6億8,800万円増、8.3%増)
営 業 利 益	5億9,000万円	(同 1億2,200万円増、26.0%増)
経 常 利 益	6億1,000万円	(同 1億 300万円増、20.2%増)
当期純利益	3億4,000万円	(同 4,300万円増、14.3%増)

通 期(平成 18 年 1 月 1 日から平成 18 年 12 月 31 日まで)

売 上 高	187億円	(前期比 14億2,200万円増、8.2%増)
営 業 利 益	15億5,000万円	(同 1億8,500万円増、13.6%増)
経 常 利 益	16億円	(同 1億8,100万円増、12.8%増)
当期純利益	9億円	(同 2億1,500万円増、31.4%増)

【 】平成 18 年 12 月期配当予想について

平成 18 年 12 月期の配当予想は、配当方針の見直しにより、現在の発行済株式数を前提とすると期末に1株当たり48.00円となります。

【 】その他(ご参考)

上記決算業績概要ご説明中におけるスリランカ現地法人 ALTECH LANKA(PRIVATE)LIMITED (略称:アルテックランカ)並びに配当予想に関します件につきましては、本日(平成 18 年 2 月 13 日)付リリース別紙

1. 「スリランカ現地法人の解散に関するお知らせ」
2. 「配当方針に関するお知らせ」

を併せてご参照いただきたくお願い申し上げます。

以上